



日本平和大会 9/26 (土)、27 (日) 全国1,200か所の会場で、延べ4,000人が参加

茨城は  
34人  
参加

## まず「知る」ことが出来て本当に良かった!の声・・・

「なくそう!日米軍事同盟・米軍基地2022年日本平和大会」が11月26日(開会式、分科会・シンポ)、27日(閉会式)の2日間オンラインで開催されました。

連帯挨拶、主催者報告、海外からのメッセージ、軍事基地強化とのたたかひの報告、国際シンポと科会、トークセッション、文化行事など多彩な内容でした。



全国1,200か所で視聴され、延べ4,000人が参加。茨城県平和委員会からは、水戸・土浦・茨厚労組合事務所が会場を設置しました。個人参加の3人を含め、延べ34人がラインで全国の仲間と連帯しました。

小畑雅子全労連議長は「岸田政権は、今までと質の違う憲法9条を壊すような大軍拡路線をすすめています。大軍拡路線ではなく、憲法9条を生かし、東アジアに非核・平和の流れを広げていこう」と開会挨拶。

玉城デニー沖縄県知事は「平和と安定のためには、平和的な外交、対話による緊張緩和と信頼関係の構築が不可欠です」とメビデオメッセージを寄せました。

ジャーナリストの金平茂紀さんは「2022年は、ウクライナ侵攻と安倍銃撃事件によってターニングポイントとなった年。メディアの足元で起きている軍事大国化が伝えられていない。中国や北朝鮮を仮想敵とした南西諸島で起きていることが、なぜメディア全体で共有されないのか怒りを感じる」とスピーチしました。以下、視聴されたからの感想文を掲載します。

### 茨城県厚生病院労働組合(茨厚労)会場の参加者から

◆今回の平和大会に参加して、国民はもっと政治と向き合わなければいけないと、より実感させられた。軍事費の増大によって、社会保障関係費など生活関連予算が抑制される。

医療費や介護保険料が値上げされ、年金は減らされ、消費税は増税される。これは、国民の負担となるのは明らか。さらに印象に残ったのは、軍事費が増大されるとアメリカ、中国に次ぐ3位になることに驚いた。

アメリカは台湾有事をめぐって九州、南西諸島を結ぶ地域への戦力の増強を重視して、日米軍事演習をくり返して

いる。再び日本が戦場になってしまうことにつながってしまう。確かに攻められる恐怖というものはある。しかし、大軍拡計画の実態を知り、この計画がより日本の危険性を高めてしまうと思った。

◆北海道、沖縄の米軍・自衛隊の訓練を知り、恐ろしく思いました。日本に戦争を招く、米軍・自衛隊を増強するよりも医療・介護に予算を回して欲しいとしみじみ思いました。茨城県にも百里基地があり、オスプレイが飛んでいます。怖いです。

◆この日本平和大会を通して、政治にもっと関心を持たなくてはならないと危機感を覚えました。また、無知であることが平和をおびやかしてしまうかもしれないと思いました。

大軍拡推進の3文書を改訂し、5年間で軍事費倍増させようとしていたり、沖縄で毎年のように新しい部隊が作られていたり等、知らないことが多く、今回大会に参加してまず「知る」ことが出来て本当に良かったです。

知った上で少し考えると「日本を守る」「平和を守る」って何だろうと、上手く言葉で言い表せない感情になりました。日本が戦場になる、戦争出来る国を作っていることを無視出来ないと感じました。

◆国民を守るための軍備増強は確かに大切なかもしれませんが、そのために社会保障関係費などの生活関連予算の抑制や医療費や介護保険料の値上げや年金の減額、消費税増税など国民の生活苦につながる政策をすすめていくのは違うのではないかと思います。日米同盟や日米安保は、日本を守るためのものではなく、日本を利用して戦争をするためのものなのではないかと感じた。

オスプレイ配置にしても、直す事も出来ない欠陥があるとわかっていながら配置し、国民の上を飛んでいると思うと恐ろしい。また欠陥があるとわかっているものに対して何百億ものお金を使って、アメリカの言いなりになって買っている事自体やはりおかしいと思った。

▼水戸会場

◆ロシアのウクライナ侵攻を機に憲法9条改憲の動きが活発となりまだ改憲されていないにもかかわらず、馬毛島、石垣島、与那国島と次々基地強化がすすめられ



裏面へつづく

ていることに怒りを覚えました。そして、この事実が本土ではほとんど報道されていないことにもショックを受けました。

コロナ禍で医療崩壊となりつつある状況で、軍事費倍増計画を着々と実行に移す米国いいなりの政府に対して、国民ひとりひとりがNO!の意思表示をしていく必要性を感じました。日米同盟は決して日本を守るためのものではなく「米国のいいなりで何でもやります」「お古の武器でも戦闘機でも言い値で購入します!」の宣言書としか思えません。

台湾有事、北朝鮮の脅威で国民をだます政府を変えるには、無関心である人をひとりでも多く無くしていくこと。今日は23歳、25歳の看護師さんも一緒に参加してくれました。政治にもっと関心をもたなければ、本当に戦争になってしまうと感じた、と感想を寄せてくれました。まずは現実、現状を知らせていくこと、そこからスタートしていきたいと思えます。

### 土浦会場の参加者から

◆大型スクリーンを見ながらパネラーの報告に熱心に聞き入りました。フィンランドやオーストラリアの話は初めてであり、それぞれのパネラーの多岐にわたる報告から、ロシアのウクライナ侵略がアジア太平洋地域での米中の軍事的

緊張やNATOなど軍事ブロックの強化・拡大、核使用の脅威を招いていることなど、戦争や平和をめぐる世界動きを学び、いま国内外で平和運動の発展が大きく求められていることを実感しました。

◆平和大会視聴は初めてでしたが、とても素晴らしい機会を得ることができました。

◆リアルタイムで世界の平和活動家の方々の話を聞けるなんて感動しました。日本平和委員会の存在の大きさを痛感しました。

### 次回23年度、日本平和大会開催地は「鹿児島」です!

鉄砲伝来で有名な種子島-西之表市の馬毛島(まげしま)は、米軍訓練機移転と自衛隊基地整備をめぐる、県知事は容認し、市長の態度はぐらついているなど緊迫した状況がつづいています。

岸田文雄首相は28日、27年度防衛費を「GDP2%」に達するよう防衛相・財務相に指示しました。しかし、岸田政権への支持は急落しています。

わたしたちは、憲法にもとづく平和外交推進の道への転換を求め、増税と大軍拡路線をストップさせるため、力を合わせてがんばりましょう。



## ロシア軍の即時撤退を求め、熱唱! 侵攻から9カ月、28回目の抗議集会!《県平和委》

ロシアによるウクライナ侵略・戦争から9カ月となる11月24日(木)、28回目とするスタンディングを実施しました。ロシア軍による非人道的なミサイル攻撃によってウクライナ全土は、インフラ施設等が破壊され、数百万人が電気や水、食料もない危機的な状況に陥っていると報道されています。首都キーウにも降雪があり、零下になる本格的な冬が来ています。一日でも早いロシア軍の即時撤退を求め、3人の参加者はそれぞれの思いを訴えました。

「戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会」の田中重博会長は、政府有識者会議が22日、岸田首相に提出した報告書「敵基地攻撃能力の保有」や「幅広い税目に負担」などを批判し、憲法9条を生かした外交努力こそ日本の役割だと25分余熱弁を振りました。

抗議集会の最後は、藤本ともかずさんが7代先の子もたちのために木を植えたアメリカ先住民のように平和な社会を残そうと語り、山上路夫作詞の「翼をください」をアカペラで熱唱して終わりました。



## 「スカボローフェア」を聴く

—戦死した男の切なさが沁みる—

サイモン&ガーファンクルが歌う「スカボローフェア」を思い出している。二人のハーモニーは心地よく、ギターの色音が胸に響く。作詞・作曲不詳のイギリス民謡に、ポール・サイモンが新たに歌詞を書き、アート・ガーファンクルがメロディを付けた。1967年、ダスティ・ホフマン主演の映画「卒業」の挿入歌としてヒットした。



アメリカは64年、トンキン湾事件を口実にベトナム戦争に参戦。65年から本格的な介入をしている。リメイクの背景にはベトナム戦争があったという。

「スカボロー」はイギリスの北海に面した港町。古くから大きな市(フェア)が開かれていた。主人公の男は、その「フェア」に向かう旅人に、かつて本気で愛した女性に伝言を頼む。「縫い目も無く、針も使わないシャツを」「海水と海岸の間に土地を見つけて」など。その「願い」が叶えられれば「彼女は真の恋人になる」。「パセリ、セージ、ローズマリー、とタイム」と、くり返し歌う。男は、すでにこの「世」にはいないので、どんな「願い」も実現しない。戦死した男の切なさが沁みる。ロシアがウクライナに侵攻して以降、永遠の別れが数え切れないほどあるだろう。一日でも早い戦争の終結を願っている。《篠原 睦 事務局長》